

〈Program〉

*カミール・サンサーンス:ロマンス 作品48

Camille Saint-Saëns (1835-1921): Romance Op.48

*アンリ・ヴェータン: 憂い ~ 3つのロマンス 作品7 第2番

Henri Vieuxtemps (1820-81): Trois Romances Op.7 No.2 "Désespoir"

*ラルフ・ヴォーン=ウィリアムス:ロマンス「ひばりは上る」

Ralph Vaughan Williams (1872-1958): Romance "The Lark Ascending"

*中村桂子氏と 大津純子の対談 ~ “いのちの不思議とロマン”

*L.van ベートーヴェン:ヴァイオリン・ソナタ第5番 へ長調『春』作品24

Ludwig van Beethoven (1770-1827): Violin Sonata No.5 F major "Spring" Op.24

(*曲目は変更になることがあります)

大津 純子(OHTSU Junko)

Violin

東京芸術大学、米国ジュリアード音楽院卒業。ジュリアード音楽院在学中にジュネス・ミュージカル・インターナショナル、及び、カーネギー・ホール両者による招待にてニューヨーク・デビュー。ニューヨーク・タイムズ紙上、音楽評論家レイモンド・エリックソン氏より、“卓越した演奏”“将来を大きく期待される音楽家”と高い評価を受け、以後、ニューヨークを拠点に、本格的な米国内外での演奏活動を開始。

セントルイス交響楽団、シモン・ポリバル・ヴェネズエラ国立オーケストラ他との共演、リサイタル・プログラム〈The Artistry of Junko Ohtsu〉は、パブリックTVネットワークにて全米30都市以上に放映、また米国各地でのラジオ放送出演も数多い。ロックフェラー三世財団より2年間に亘り特別グラント受賞。国際交流基金派遣にてロシア、チェコ、フィリピン、ベトナム、オーストラリアなど、欧州、アジア、中南米諸国にて公演し、絶賛される。

『ヴァイオリンの詩〜ベル・エポック』、スペイン音楽選集『マラゲーニャ』(各・日本フォンテック)、『Prelude to a Kiss』(BAJ Records)などCD5枚をリリース。『マラゲーニャ』収録曲のE.グラナドス:ヴァイオリン・ソナタは、“素晴らしい録音・・・”(音楽評論家・諸石幸生氏)と評価高い本邦初録音となる。また、アメリカ女流演奏家と構成する Ecco Trio (ピアノ・トリオ)によるアルバム『アメリカ』は、〈レコード芸術〉誌「室内楽準推薦盤」に選出された。2011年2月、東北民謡集DVD『あいの風〜Wind from Northeast』をプロデュース、リリース(この収益全額は東日本大震災復興のために寄付)。その意図外な企画と、ヴァイオリンによる津軽・南部地方の民謡(編曲)演奏の新鮮なアプローチは称賛的となる。

2002年、自ら企画・プロデュースした室内楽シリーズ『Good Old Days ~ アメリカの〈素敵な時代〉』は、日本のクラシック音楽シーンの盲点であった“知られざるアメリカ”にスポットを当てた意欲的な好企画として各界より注目を浴びる。2004~11年、イラストレーター・和田誠、ジャズピアニスト・佐藤允彦両氏とともにジャンルを超えて音楽を楽しもう、という意図のもと、《Junko and the Night and the Music》シリーズを開催。3人の異なるバックグラウンドを生かしたユニークな企画は好評を博す。2005年12月より《大津純子・心のコンサート》を年2回展開中。

2012年、新シリーズ《純子の音楽ミニ・キャラバン》(小さなお子さん・学生さん対象に“音楽の楽しみ”を届ける出張演奏会)を開始。また、2000年より毎秋、国立情報学研究所主催による《軽井沢土曜懇話会》(情報工学における権威、故・猪瀬博氏開設)に招かれてレクチャー・コンサートを行っている。現在、コンサート・プロデュース、執筆、講演の分野にも活動の場を広げている。

中村 桂子(KEIKO Nakamura)

Guest

JT生命誌研究館館長。昭和11年1月1日生まれ。東京都出身。東京大学理学部化学科卒業、東京大学大学院生物化学専攻博士課程修了(理学博士)。

職歴

昭和39年4月 国立予防衛生研究所研究員
昭和46年5月 三菱化成生命科学研究所社会生命科学研究室長
昭和56年4月 三菱化成生命科学研究所人間自然研究部長
平成元年4月 早稲田大学人間科学部教授
平成5年4月 JT生命誌研究館副館長
平成7年5月 東京大学先端科学技術研究センター客員教授
平成8年4月 大阪大学連携大学院教授
平成14年4月 JT生命誌研究館館長

平成5年47回毎日出版文化賞「自己創出する生命」(哲学書房)、平成8年第12回日刊工業新聞技術・科学図書文化賞優秀賞「ゲノムを読む」(紀伊国屋書店)、平成12年第8回松下幸之助花の万博記念賞、第15回ダイヤモンドレディ賞、平成14年オメガ・アワード2002第10回大阪府女性基金プリムラ大賞、平成19年第45回大阪文化賞、平成24年アカデミア賞文化部門

JT生命誌研究館

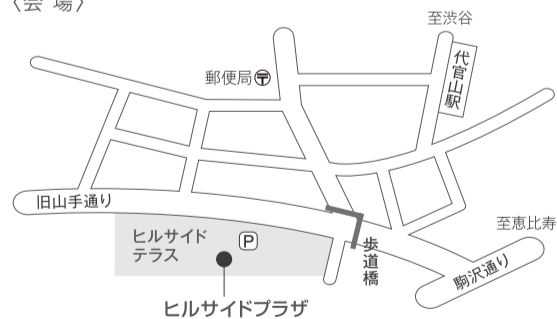
URL:<http://www.brh.co.jp>

岡田 知子(OKADA Tomoko)

Piano

東京芸術大学器楽科を卒業後、北西ドイツ音楽アカデミー・デトモルトに留学。声楽の伴奏と器楽アンサンブルを学び、同校を首席で卒業。1977年1月、ベルリン・メンデルスゾーン・コンクール:ピアノ・トリオ部門第1位入賞。同年10月、ジュネーブ国際音楽コンクール:ピアノ・トリオ部門第2位(1位空席)およびスイス特別賞受賞。現在、アンサンブル・ピアニストとして内外演奏家との共演、CD録音、コンサート・プロデュースなど、多方面に活発な活動を続けている。

〈会場〉



HILLSIDE PLAZA

■コンサートお申込み書 (FAX送信先:03-3486-8740)

お名前 _____ ご連絡先 _____

ご住所 _____ 名 _____